平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場会社名　ヒューマンホールディングス株式会社　　上場取引所　大
コード番号　2415　URL　http://www.athuman.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 佐藤　朋也
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画担当　(氏名) 川下　裕左　TEL 03-6846-8002

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	12,231	△6.3	420	△35.8	451	△31.9	342	28.3
23年3月期第1四半期	13,050	△15.5	655	0.3	662	2.5	266	△53.7

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　350百万円　(29.0%)　23年3月期第1四半期　271百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3,149.03	―
23年3月期第1四半期	2,453.63	2,451.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	19,918	4,409	22.1
23年3月期	22,203	4,138	18.6

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　4,408百万円　23年3月期　4,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	500.00	500.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		―	―	1,274.00	1,274.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,992	△4.0	212	△70.3	188	△74.3	97	△30.4	896.51
通期	50,888	4.3	873	△13.2	906	△13.4	692	170.3	6,369.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	109,872 株	23年3月期	109,872 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,089 株	23年3月期	1,089 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	108,783 株	23年3月期1Q	108,783 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続きを実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の成長に伴う需要拡大に支えられ、企業収益に改善の兆しが見えるとともに、完全失業率がわずかながらも減少するなど雇用情勢にもやや持ち直しの動きが見られました。しかしながら、平成23年３月11日に発生した東日本大震災の影響などにより、景気全体の先行きについて極めて不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、人材関連業界におきましては、企業の雇用情勢が回復基調であるものの、個人消費の落ち込みからくる景気の下振れ懸念から派遣需要の回復が遅れ、依然として厳しい状況で推移しております。教育業界におきましては、少子化の影響によりマーケットは縮小傾向にあります。介護業界におきましては、高齢化の進行により引き続きマーケットは拡大しておりますが、人材不足が問題となっております。

このような状況において、当社グループは、人材関連事業の再構築と教育事業の構造転換に重点的に取り組み、介護事業は新規開設を推進いたしました。

以上の結果といたしまして、当第１四半期連結累計期間における売上高は、主に人材関連事業と教育事業の減少により前年同四半期比6.3%減の12,231百万円となりました。利益面では、売上の減少により、経常利益は前年同四半期比31.9%減の451百万円となりました。四半期純利益については、前期に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う特別損失がなかったことにより、前年同四半期比28.3%増の342百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 人材関連事業

人材関連事業におきましては、厚生労働省職業安定局から発表された「専門26業務派遣適正化プラン」に対して厳格に取り組んだこと、及び顧客企業による派遣需要の抑制等により、人材派遣の売上は減少いたしました。特定派遣分野においては、技術者の稼働者数が増えたことにより売上は増加し、業務受託分野においてもメディカル分野と就職支援などの行政関連を中心に売上は増加いたしました。また、人材紹介の売上も増加いたしました。

主な取り組みとして、マーケットのニーズに迅速に対応するため、各分野に専門特化した営業体制を整備いたしました。また、顧客企業の人材ニーズと、登録者の求職ニーズを的確に捉えてスタッフ登録からマッチングまでを行う専門部門を各営業部に配置し、企業のニーズから成約に至るまでのスピードアップを図りました。

この結果、人材関連事業の売上高は前年同四半期比9.9%減の6,666百万円、営業利益は前年同四半期比52.3%減の12百万円となりました。

② 教育事業

教育事業におきましては、通信講座、ライセンスビジネス等のコンテンツビジネスや講座受託を推進することにより収益の向上に努めましたが、景気の先行きの不透明さからくる消費マインドの低迷により依然として厳しい状況が続きました。

社会人教育事業では、通信講座の販売が好調に推移した一方、通学講座の受講生数は減少いたしました。また、新たな試みとして、フリーレッスン制の導入を行いました。

全日制教育事業では、総合学園ヒューマンアカデミーの本科部門在校生数が増加いたしましたが、震災の影響により日本語学校の在校生数は大幅に減少いたしました。

この結果、教育事業の売上高は前年同四半期比5.3%減の3,824百万円、営業利益は前年同四半期比41.3%減の336百万円となりました。

なお、当社の連結子会社であるヒューマンアカデミー株式会社は、顧客の学習ニーズを満たし、より満足していただける学習サービスを継続して提供していくため、平成23年７月８日にISO（国際標準化機構）より発行された国際規格（サービス関連）の「ISO29990：2010」の認証を取得いたしました。

③ 介護事業

介護事業におきましては、前期に開設した事業所を中心に、順調に利用者数が増加いたしました。また、デイサービスセンターにおける定員に対する充足率の向上に努めました。

事業所につきましてはデイサービスセンターとして稲城の湯（東京都）、長住(福岡県）を新規開設いたしました。

この結果、介護事業の売上高は前年同四半期比15.5%増の1,376百万円、営業利益は前年同四半期比282.6%増の61百万円となりました。

④　フランチャイズ事業

フランチャイズ事業におきましては、英会話・ロボット・理科実験教室の加盟校が増えた結果、受講生数が増加いたしました。

この結果、フランチャイズ事業の売上高は前年同四半期比44.3%増の93百万円、営業損失は９百万円（前年同四半期は18百万円の営業損失）となりました。

⑤　その他

ネイルサロン運営事業におきましては、ルクア大阪店（大阪府）を新規出店いたしました。また、既存店の売上は順調に増加いたしました。

プロバスケットボールチーム「大阪エヴェッサ」の運営におきましては、試合数が少なかったことによりチケット売上は減少し、スポンサー収入も減少いたしました。

この結果、その他の事業の売上高は前年同四半期比24.5%減の270百万円、営業損失は31百万円（前年同四半期は２百万円の営業利益）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間末の資産合計は、19,918百万円となり、前連結会計年度末の22,203百万円から2,284百万円減少いたしました。

流動資産につきましては、14,797百万円となり、前連結会計年度末の16,968百万円から2,170百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が1,592百万円、売掛金が499百万円減少したことによるものです。また、固定資産につきましては、5,120百万円となり、前連結会計年度末の5,234百万円から113百万円減少いたしました。

次に、負債合計は、15,509百万円となり、前連結会計年度末の18,064百万円から2,555百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、13,160百万円となり、前連結会計年度末の15,323百万円から2,163百万円減少いたしました。これは主に、前受金が1,465百万円、短期借入金が480百万円、未払金が264百万円減少したことによるものです。また、固定負債につきましては、2,348百万円となり、前連結会計年度末の2,740百万円から392百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が401百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、4,409百万円となり、前連結会計年度末の4,138百万円から270百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が263百万円増加したことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間における売上高は、おおむね計画通り推移いたしました。

利益面につきましては、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに計画を上回りましたが、その主な要因は、人材関連事業、教育事業及び介護事業において、計画以上に好調であったことによるものであります。

今後の事業展開においても、グループ一丸となって収益の拡大に努めてまいりますが、フランチャイズ事業及びスポーツエンターテインメント事業において計画からの遅れが見られることなど懸念材料があります。

このような状況を勘案した結果、現時点では、平成23年５月13日に発表いたしました「平成23年３月期決算短信」の連結業績予想から修正は行っておりません。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,444,794	8,852,119
売掛金	5,146,064	4,646,126
有価証券	199,920	199,941
商品	254,256	235,924
貯蔵品	82,986	84,161
その他	845,527	783,423
貸倒引当金	△4,961	△4,090
流動資産合計	16,968,588	14,797,606
固定資産		
有形固定資産	2,561,721	2,574,700
無形固定資産	287,427	293,513
投資その他の資産		
差入保証金	1,579,494	1,527,983
その他	857,853	771,797
貸倒引当金	△51,627	△47,089
投資その他の資産合計	2,385,719	2,252,691
固定資産合計	5,234,868	5,120,906
資産合計	22,203,457	19,918,512
負債の部		
流動負債		
買掛金	122,453	131,057
短期借入金	790,000	309,551
1年内返済予定の長期借入金	1,591,760	1,566,760
前受金	8,019,411	6,553,434
未払金	3,326,586	3,061,940
未払法人税等	156,293	77,801
賞与引当金	244,451	148,033
資産除去債務	205	205
その他	1,072,623	1,311,927
流動負債合計	15,323,785	13,160,711
固定負債		
長期借入金	2,249,260	1,847,320
役員退職慰労引当金	283,904	290,302
資産除去債務	95,048	96,809
その他	112,678	113,943
固定負債合計	2,740,892	2,348,375
負債合計	18,064,677	15,509,086

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,299,900	1,299,900
資本剰余金	809,900	809,900
利益剰余金	2,092,406	2,355,445
自己株式	△66,291	△66,291
株主資本合計	4,135,914	4,398,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,233	△15,021
為替換算調整勘定	16,275	24,682
その他の包括利益累計額合計	2,041	9,661
少数株主持分	823	811
純資産合計	4,138,780	4,409,426
負債純資産合計	22,203,457	19,918,512

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	13,050,811	12,231,473
売上原価	9,284,653	8,627,866
売上総利益	3,766,158	3,603,606
販売費及び一般管理費	3,110,853	3,182,906
営業利益	655,304	420,700
営業外収益		
受取利息	637	510
受取配当金	72	90
金銭の信託運用益	6,894	4,695
補助金収入	24,076	26,787
その他	21,743	32,287
営業外収益合計	53,423	64,371
営業外費用		
支払利息	16,890	12,258
投資有価証券評価損	2,871	17,550
消費税差額	14,845	－
その他	11,737	4,134
営業外費用合計	46,345	33,943
経常利益	662,382	451,128
特別利益		
投資有価証券売却益	6,906	－
特別利益合計	6,906	－
特別損失		
固定資産除却損	5,215	－
固定資産売却損	－	251
投資有価証券評価損	124,041	1,621
減損損失	4,613	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	197,957	－
特別損失合計	331,827	1,873
税金等調整前四半期純利益	337,461	449,254
法人税等	71,784	106,706
少数株主損益調整前四半期純利益	265,676	342,548
少数株主損失（△）	△1,236	△12
四半期純利益	266,913	342,560

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	265,676	342,548
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,279	△787
為替換算調整勘定	8,105	8,406
その他の包括利益合計	5,825	7,619
四半期包括利益	271,502	350,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272,739	350,180
少数株主に係る四半期包括利益	△1,236	△12

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）	合計
	人材関連事業	教育事業	介護事業	フランチャイズ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,397,073	4,039,252	1,191,744	64,599	12,692,670	358,141	13,050,811
セグメント間の内部売上高又は振替高	838	10,931	－	1,472	13,241	49,321	62,563
計	7,397,911	4,050,183	1,191,744	66,072	12,705,912	407,463	13,113,375
セグメント利益又は損失(△)	26,282	573,295	15,949	△18,783	596,744	2,030	598,774

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツエンターテインメント事業、ネイルサロン運営事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	596,744
「その他」の区分の利益	2,030
セグメント間取引消去	756
各セグメントに配分していない全社損益（注）	55,773
四半期連結損益計算書の営業利益	655,304

（注）主として持ち株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）	合計
	人材関連事業	教育事業	介護事業	フランチャイズ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,666,385	3,824,472	1,376,813	93,239	11,960,911	270,561	12,231,473
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,516	55,992	147	1,176	69,833	45,089	114,922
計	6,678,902	3,880,465	1,376,960	94,415	12,030,744	315,650	12,346,395
セグメント利益又は損失(△)	12,527	336,427	61,019	△9,890	400,084	△31,264	368,819

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツエンターテインメント事業、ネイルサロン運営事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	400,084
「その他」の区分の利益	△31,264
セグメント間取引消去	478
各セグメントに配分していない全社損益（注）	51,402
四半期連結損益計算書の営業利益	420,700

（注）主として持ち株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。